事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課			■担当係	水田営農係		
■評価事業名称	北上市認定農業者連絡協議会補助金						
■評価事業コード	050200 - 033 ■会計区分 一般会計						
	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり					
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	■基本施策 04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上					
	■施策	04 農林業の担い手等人材の育成支援					
■事業の類型	06 負担金・補助金(ソフト事業) ■政策・業務区分 政策				政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの						
■法令等の名称							
■関連計画の名称							
■事 業 の 目的と概要	認定農業者、担い手の育成・確保。団体の育成、活動に対する補助						

2. 細事業の活動実績情報

細事		事業の対象	平成 26 年度事業計画	平成 26 年度事業量実績
01	北上市認定 農業者連絡 協議会補助 金	認定農業者	・市長と語る会の実施、全国農業担い手サミットへの参加、経営者レベルアップ研修の実施、パソコン簿記講習会の実施、北上地区懇談会の実施、支援ニュースの発行(4回)	市長と語る会の実施 5/22

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	324	320	323	338	
人 件 費	892	3,383	458	2,571	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,216	3,703	781	2,909	

4. 評価指標等の状況

指標 コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01 各種	研修会等開催回数	6回	7回	7回	7回	複式農業簿記講習、パソコン簿記講習、農業経営者セミナー、農業フォーラム、農
						ミナー、農業フォーラム、農業委員との意見交換会、経営改善研修会、西和賀農業者との懇談会など各種の研修会に多くの認定農業者が参加した。

事務事業事後評価シート「平成26年度事業]

事份争未争後計価ソート[十成20年及争未]								
02 農業情報の提供	4回	4回	4回	5回	「支援ニュース」を2回発行したほか、ビジョンの担い手 (集務を)とは、近、世界の関係を対しては、1945年と、1945年に対しては、1945年に対しには、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しては、1945年に対しには、1945年には、1945年には、1945年には、1945年に対しには、1945年には、1945年には、1945年には、1945年に対しには、1945年			
					めた)に対しても農業関連 情報を2回発行した。			
03 新規経営改善計画の認定 数	者 11経営体	5経営体	14経営体	25経営体				
5. 事後評価(「政策」事業	類型5・6のみ	.)						
III vt - 1 1 1 v -	達成状況の名	分析		問題点•課題	等			
□■目標達成状況 ────	おおむね計画	国どおりの事業を3	尾施した。		会の内容、講師の再検討が必要(先進経営 圣営コンサルなど)			
● A. 順調○ B. 概ね順調								
○ C. 遅れている								
]							
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				┌3. 国•県•民				
○ 不特定多数に及ぶ	人	きな不利益やリスク	ウが生じる	│ ○ 類似の	○ 類似の事業はない			
○ 特定されるが多数に及ぶ	○ あ る	○ ある程度の不利益やリスクが生じる			● 類似の事業はあるが競合はない			
● 特定少数に限定される	● 不	● 不利益やリスクは小さい			○ 類似の事業があり競合する			
□ 4. 事業へのニーズの変化 -		 5. 施策の改善	 :需要度(市民意識	調査) 6. 5				
○ ニーズが高まっている		● 順位が高い	,	● 順位が高い				
◉ ニーズは変わらない		○ 順位が中和	涅度	○ 順位が中程度				
○ ニーズが低下している又は合致しない		○ 順位が低い	۸,		順位が低い			
○ 先進的またはユニークな	● 民間委託等の	の拡充は難しい	以上の効率化や改善は難しい					
● 他と同程度の事業である		○ 民間委託等(品間委託等の拡充が十分に可能 ○ 効率化や改善を図るこ					
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や	実施主体の移行が	可能 📗 🧿 🕉	h率化や改善の余地が大きい				
ー ■ 今後の方向性 —								
│ │) Ⅳ. 民間活用・	協働事業化						
	∵ Ⅴ. 廃止•休止							
○ Ⅲ. 縮小・要改善) VI. 完了							